

2 年次生進路ガイダンス

2月13日（木）、2年次生を対象に地元企業見学会（就職・公務員希望者）及び進学ガイダンス（進学希望者）を実施しました。今回のガイダンスをきっかけに、進路についてしっかりと考え、明確な進路目標をもって3年次へ進級して欲しいと願っています。

【地元企業見学会】

就職・公務員希望者は、下呂市商工課のご協力のもと、以下の3コースに分かれて、下呂市内の企業を見学しました。実際に職場を見学させていただき、会社の方のお話を直接伺うことで、目には見えないところでお客様や地域のことを一番に考え、さまざまな工夫や努力をされていることがよく分かりました。また、挨拶やコミュニケーション、細かいことに気が付くことの大切さから、時代の変化に応じて戦略も変えていかなければ



いけないという経営面などについてもお話しいただき、大変勉強になるとともに、地元企業の魅力を実感することができました。地元就職という選択肢も大切にしながら、来年度の就職活動を頑張りたいと思います。

A コース	B コース	C コース
益田信用組合 様	ヒダラシ株式会社 様	萩原チキンセンター 様
下呂市役所 様	株式会社ハウテック 様	小川屋 様
日本郵便株式会社(萩原郵便局) 様	下呂建設業協会 様	株式会社シーフード・マルイ 様

◆生徒の感想

- ・職場で働く人から直接お話を伺って、ホームページや冊子などでは知ることが出来ない多くの情報が知れて、自分のためになりました。
- ・各企業の経営理念やビジョンについてもお話を伺い、それぞれの企業がどのように社会に貢献しているのかを知ることができました。
- ・地元就職が、地域貢献に繋がることがよくわかったので、地元就職を視野に入れて、自分のやりたいことを考えてみたいです。
- ・社員の働きやすさや福利厚生に力を入れているところが多く、企業文化や社員の働く環境についても深く理解できました。企業がお客様や地域だけでなく社員にも優しく、持続可能な経営を目指していることがよく伝わりました。

【進学ガイダンス】

進学希望者は、以下のとおり、さまざまなガイダンスを受講しました。多くの生徒が進学で地元を去ることになりますが、その前に、上級学校卒業後、「Uターン」就職をして地元に戻り、地域の活性化に貢献できる道もあることを覚えておいて欲しいと始めた「地元企業社会人講話」も3年目となり、今年も大変参考になるお話を伺えました。

◆ 1限 今年度の進路状況及び下呂市商工課より

今年度の3年次生の進路実績について説明し、進学意識を高めました。後半は下呂市商工課の担当の方より、下呂市が行っている就職支援制度などについて説明を受けました。

◆ 2、3限目 地元企業社会人講話

高校卒業後、上級学校で学び、その後、飛騨地区に戻り、働かされている社会人の方を講師に招き講話をしていただきました。高校時代の進路の悩み、上級学校での学びや経験、飛騨に戻ると決めた経緯、飛騨の人の温かさや暮らしやすさなど、飛騨地区で暮らすこと、働くことの魅力についてお話いただきました。



講師を派遣していただいた企業様は次の通りです。

下呂建設業協会(馬瀬建設株式会社)様	DNP 田村プラスチック 様
濃飛乗合自動車株式会社 様	下呂市役所 様

◆ 4限目 分野別体験授業

大学・短大の教授や専門学校の講師を招き、「経営」、「工学」、「教育・保育」など5分野に分かれ、模擬授業を受講しました。専門的な内容も、分かりやすく説明していただき、グループワークや実技も取り入れていただきながら大変楽しく授業を受けることができ、上級学校での学びについてもイメージをもつことができました。



◆ 5、6限目 学部・学科ガイダンス

31の講座のなかから、希望に応じて2つの講座を選択し、受講しました。何をどのように学び、どんな資格が取得できるか、卒業後にはどのような進路があるのかなど、各分野での学びについて詳しく知ることができました。

◆ 生徒の感想

- ・進学ガイダンスの話を聞いて、もうすぐそこに大学受験や進路選択という人生の大きなイベントが近づいている事を実感した。
- ・地元企業は大企業ではないけど、その分、一人ひとりの役割が大きく、成長を実感しやすい環境が整っていると感じました。将来、地元就職を視野に入れたいと思いました。
- ・大学や専門学校の説明も丁寧で自分がどういう進路に進んで将来どういうことをやりたいのかを改めて考え直す機会になりました。